

2025年10月18日(土) 第1会場(カルチャー棟 大ホール)

[OC] 開会式

10:00～10:40 第1会場(カルチャー棟 大ホール)

- [OC] 開会式・大会長挨拶・理事長挨拶
第34回大会会長: 阿部 利彦¹
日本LD学会理事長: 海津 亜希子²
(1. 星槎大学、2. 明治学院大学)

[SL] 特別講演

11:00～13:00 第1会場(カルチャー棟 大ホール)

- [SL] Rethinking Neurodiversity: Understanding Autism, Dyslexia, and ADHD Through a Neuroscientific Lens
ニューロダイバーシティの再考: 神経科学のレンズを通したディスレクシア、ADHD、ASDの理解
講師: Barbara Oakley¹
司会: 涌井 恵²
(1. オークランド大学、2. 白百合女子大学)

[CS] 大会企画シンポジウム1

13:40～15:40 第1会場(カルチャー棟 大ホール)

- [CS01] よかけん
——発達に特性のある子ども・若者の余暇活動を研究する
企画者・話題提供者: 加藤 浩平^{1,2}
企画者: 藤野 博¹
司会者・話題提供者: 日戸 由刈³
話題提供者: 平尾 直志⁴
指定討論者: 本田 秀夫^{5,6}
(1. 東京学芸大学、2. 金子総合研究所、3. 相模女子大学、4. 株式会社プロカ、5. 信州大学、6. 長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」)

[OS] 一般公開講演会

16:30～18:30 第1会場(カルチャー棟 大ホール)

- [OS] 「好きをとことん」進むために ～周りの大人が知っておくこと
講師: 本田 秀夫^{1,2,3}
対談者: 沖田 ×華⁴
(1. 信州大学医学部、2. 信州大学医学部附属病院、3. 長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」、4. 漫画家)

2025年10月18日(土) 第2会場(カルチャー棟 小ホール)

[CS] 大会企画シンポジウム2

11:00～13:00 第2会場(カルチャー棟 小ホール)

[CS02] これから求められる多様な学びの学校

企画者: 安部 雅昭¹

指定討論者: 梅田 真理²

話題提供者: 我妻 聡美³、増子 啓信⁴、井内 聖⁵

(1. 星槎国際高等学校、2. 宮城女子学院大学、3. 白石市立白石きぼう学園、4. 前大熊町立学び舎ゆめの森、5. 安平町教育委員会)

[CS] 大会企画シンポジウム3

13:40～15:40 第2会場(カルチャー棟 小ホール)

[CS03] 発達障害者の就労支援の最新情報

司会者・企画者: 梅永 雄二¹

話題提供者: 井口 修一²、高橋 亜希子³、志村 恵⁴

指定討論者: 松為 信雄⁵

(1. 早稲田大学、2. 障害者職業総合センター、3. 就労移行支援事業所エンカレッジ早稲田、4. 特例子会社日綜ぴゅあ、5. 神奈川県立保健福祉大学)

[CP] LD-SKAIP委員会企画シンポジウム

講演日時・会場変更

2025年10月18日(土) 第3会場(センター棟 4階 417)

[CP] ハラスメント防止委員会企画講演会

11:00～12:30 第3会場(センター棟 4階 417)

[CP02] 子どもの権利条約とハラスメント

司会者・企画者: 高橋 靖子¹、森山 貴史³

講師: 小泉 広子²

(1. 愛知教育大学、2. 桜美林大学、3. 青森県教育庁)

[CP] 国際委員会企画講演

13:20～15:20 第3会場(センター棟 4階 417)

[CP03] Bridging Neuroscience and Education: Early Detection and Intervention for Language-Based Learning Disabilities or the Need for Preventative Education
神経科学と教育の架け橋—言語に基づく学習障害の早期発見と介入・予防教育の必要性—

講師: Nadine Gaab¹

司会者: 川合 紀宗²

(1. Harvard Graduate School of Education, Harvard University、2. 広島大学)

[J] 自主シンポジウム (実行委員会選抜): インクルーシブ教育

16:45 ~ 18:15 第3会場 (センター棟 4階 417)

[J4-03] 小・中学校の通常の学級における社会モデルプログラムの開発と導入

企画者, 司会者, 話題提供者: 野口 晃菜¹

企画者, 話題提供者: 野田 航²

話題提供者: 藤本 恵美³、岡田 悦子⁴、藤田 政貴⁴

指定討論者: 近藤 武夫⁵

(1. 一般社団法人UNIVA、2. 大阪教育大学、3. 戸田市教育委員会、4. 公立小学校、5. 東京大学先端科学技術研究センター)

2025年10月18日 (土) 第4会場 (センター棟 1階 101)

[J] 自主シンポジウム (実行委員会選抜): 読む・書く

11:00 ~ 12:30 第4会場 (センター棟 1階 101)

[J1-04] 発達性ディスレクシアにおける合理的配慮

ー子どもに届く支援に向けてー

企画者, 司会者: 奥村 智人^{1,2}

話題提供者: 水田 めくみ²、栗本 奈緒子²、竹下 盛²

指定討論者: 若宮 英司³

(1. 大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所、2. 大阪医科薬科大学LDセンター、3. 藍野大学医療保健学部)

[J] 自主シンポジウム (実行委員会選抜): ユニバーサルデザイン

12:55 ~ 14:25 第4会場 (センター棟 1階 101)

[J2-04] 学習者エージェンシーを育む改訂版UDLガイドラインとは

UDLガイドライン3.0の概要と実践への示唆

企画者, 司会者, 話題提供者: 川俣 智路¹

話題提供者: 名越 斉子²、竹前セルズ 奈津子³

指定討論者: バーンズ亀山 静子¹

(1. 北海道教育大学 未来の学び協創研究センター、2. 埼玉大学教育学部、3. セントラルコネチカット州立大学)

[J] 自主シンポジウム (実行委員会選抜): 研修・専門性の維持向上

14:50 ~ 16:20 第4会場 (センター棟 1階 101)

[J3-04] 通級による指導における専門性を高める取組

専門性向上につながる研修に焦点を当てて

企画者、司会者：石本 直巳¹

話題提供者：桂野 文良²、田近 健太³、坂内 仁⁴

指定討論者：山下 公司⁵

(1. 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所、2. 小樽市立稲穂小学校、3. 札幌市立信濃中学校、4. 北海道教育委員会特別支援教育課、5. 北海道教育大学札幌校)

[J] 自主シンポジウム (実行委員会選抜)：就労・就職・自立

16:45～18:15 第4会場 (センター棟 1階 101)

[J4-04] 発達障害児のキャリア教育と就労支援

ソフトスキルのアセスメント

企画者、司会者：梅永 雄二²

話題提供者：岩崎 あすみ¹、乗田 開³、志村 恵⁴

指定討論者：坂井 聡⁵

(1. 早稲田大学、2. 早稲田大学、3. 東京障害者職業センター、4. 特例子会社、5. 香川大学)

2025年10月18日 (土) 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J] 自主シンポジウム：義務教育期 (小・中学) の支援

11:00～12:30 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J1-05] 「多職種」の視点で見るLD支援

NHKハートフォーラム「子どもの発達障害」に寄せられる声から

企画者、話題提供者：菊田 史子¹

司会者、話題提供者：坂口 真²

話題提供者：近藤 幸男³、綿貫 愛子⁴

指定討論者：本田 秀夫⁵

(1. 一般社団法人 読み書き配慮、2. 社会福祉法人 NHK厚生文化事業団、3. 川崎市発達相談支援センター、4. 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科、5. 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

12:55～14:25 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J2-05] 読み書き困難のある生徒の公立高校入試での補助代替支援による合理的配慮と今後の課題

家庭・民間団体・公立中学校の連携事例から考える

企画者、司会者：河野 俊寛^{1,2}

話題提供者：臼井 駿翼^{3,2}、黒澤 勝⁴、橋本 真弓⁵

指定討論者：坂井 聡⁶

(1. 東京農工大学、2. 一般社団法人読み書き配慮、3. 立教大学現代心理学部、4. 新宿区立新宿中学校、5. 株式会社ForNext、6. 香川大学)

[J] 自主シンポジウム：義務教育修了後（高校・大学等）の支援

14:50～16:20 第5会場（センター棟 1階 102）

- [J3-05] 高等学校通級による指導の実践内容、方法の発展と評価
～自立活動を元にしたプログラムの具体的検証と質的向上（東京モデル②）～
企画者、司会者：齊藤 宇開¹
話題提供者：綱川 貴¹、上田 拓実³、濱野 智恵³、山下 峻²
指定討論者：田中 裕一⁴
(1. TASUC株式会社、2. 星槎教育研究所、3. 株式会社Grow-S、4. 神戸女子大学)

[J] 自主シンポジウム：読む・書く

16:45～18:15 第5会場（センター棟 1階 102）

- [J4-05] 読解を支える力とは何か
特別支援教育と国語教育を架橋する
企画者：関 あゆみ¹
話題提供者：内山 仁志²、中井 悠加²
指定討論者：水田 めくみ³、勘米良 祐太⁴
(1. 北海道大学教育学研究院、2. 島根県立大学人間文化学部、3. 大阪医科薬科大学LDセンター、4. 武蔵野大学教育学部)

2025年10月18日（土） 第6会場（センター棟 3階 309）

[J] 自主シンポジウム：計算・算数

11:00～12:30 第6会場（センター棟 3階 309）

- [J1-06] 算数障害の研究・実践の現在地
企画者、司会者、話題提供者：河村 暁¹
話題提供者：山本 ゆう²、藤岡 徹³
指定討論者：熊谷 恵子⁴
(1. 福岡教育大学、2. 松本大学、3. 福井大学、4. 筑波大学)

[J] 自主シンポジウム：LD以外の発達障害（ASD・ADHD・DCDなど）

12:55～14:25 第6会場（センター棟 3階 309）

- [J2-06] 学習支援を支える「学ぶ楽しさ」を考察する
～多職種の視点から～
企画者、司会者、話題提供者：高橋 絵理子¹
話題提供者：早川 智子²、久保見 篤³
指定討論者：加藤 希歩⁴
(1. ジョイビジョン京田辺、2. ことばのもり つりーはうす岸辺教室、3. 京都市教育相談総合センターこどもパトナ、4. 医療法人家森クリニック)

[J] 自主シンポジウム：義務教育期（小・中学）の支援

14:50～16:20 第6会場（センター棟 3階 309）

- [J3-06] 教師主導の授業から学習者中心の学びへの転換に至る教師の変容
ー学びのユニバーサルデザイン（UDL）による授業づくりを追ってー
企画者、司会者、話題提供者：高橋 あつ子¹
話題提供者：白上 洋士²、片山 純子³
指定討論者：中林 浩子⁴
(1. 早稲田大学大学院、2. 公立小学校、3. 公立小学校、4. 下関市立大学)

[J] 自主シンポジウム：就労・就職・自立

16:45～18:15 第6会場（センター棟 3階 309）

- [J4-06] 発達障害者の自動車運転免許取得における合理的配慮
「運転免許 つばさプラン」の取組の成果と課題
企画者、司会者：齋藤 大地¹
話題提供者：会田 美沙²、佐藤 みゆき²
指定討論者：佐々木 銀河³
(1. 宇都宮大学共同教育学部、2. 鹿沼自動車教習所、3. 筑波大学人間系)

2025年10月18日（土） 第7会場（センター棟 3階 310）

[J] 自主シンポジウム：読む・書く

11:00～12:30 第7会場（センター棟 3階 310）

- [J1-07] 読み書き困難を示す子どもへの「ひらがな・カタカナ」学習支援方法の検討（4）
ーかな文字特殊音節表記の読み書きの習得に向けた学習支援ー
企画者：堀部 要子¹
司会者：福元 理英²
話題提供者：畑瀬 陸³、松浦 百香⁴、東俣 淳子⁵
指定討論者：樋口 和彦⁶
(1. 名古屋大学児童教育学部、2. 日本福祉大学教育・心理学部、3. 広島市立皆実小学校、4. 春日井市立西山小学校、5. 豊田市こども発達センター、6. 広島修道大学人文学部)

[J] 自主シンポジウム：ICT活用

12:55～14:25 第7会場（センター棟 3階 310）

- [J2-07] ICTを活用した読み書き学習再考
活用のための準備、限界に着目して
企画者、司会者、話題提供者：高橋 麻衣子¹
話題提供者：入山 満恵子²、村田 美和³
指定討論者：犬塚 美輪⁴
(1. 早稲田大学、2. 新潟大学教育学部、3. 高崎健康福祉大学、4. 東京学芸大学)

[J] 自主シンポジウム: ユニバーサルデザイン

14:50 ~ 16:20 第7会場 (センター棟 3階 310)

[J3-07] 学びのユニバーサルデザインガイドライン活用の実際と効果

児童生徒の学習態度や学業達成の変容と教師の振り返り

企画者, 話題提供者: 納富 恵子¹

話題提供者: 大橋 均²

司会者, 話題提供者: 西山 久子³

指定討論者: 川俣 智路⁴

(1. 下関市立大学、2. 兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科 (鳴門教育大学)、3. 福岡教育大学、4. 北海道教育大学)

[J] 自主シンポジウム: 校内連携・地域連携の構築

16:45 ~ 18:15 第7会場 (センター棟 3階 310)

[J4-07] 医教連携による地域の特別支援教育推進の一実践

企画者: 尾崎 朱¹

話題提供者: 石原 剛広³、東浦 裕也⁴、高橋 範充⁴、酒井 小槇⁵

指定討論者: 田中 裕一⁶、小野 次朗²

司会者: 伊藤 吾郎⁷

(1. 宝塚市立たからづか支援学校、2. 大阪大学大学院医学系研究科、3. いしはらこどもクリニック、4. 宝塚市教育委員会、5. 宝塚市立公立小学校、6. 神戸女子大学、7. 尼崎市立公立中学校)

2025年10月18日 (土) 第8会場 (センター棟 3階 311)

[J] 自主シンポジウム: ICT活用

11:00 ~ 12:30 第8会場 (センター棟 3階 311)

[J1-08] 学習支援が必要な園児・生徒を対象としたRFS訓練による実践とその効果

RFS訓練オンラインシステム「Enable360」の可能性

企画者: 刎田 文記¹

話題提供者: 岩村 賢¹、香川 紘子¹、岩井 祐一²、小幡 知史³、稲田 尚子⁴

指定討論者: 竹内 康二⁵

(1. 株式会社スタートライン、2. 東京学芸大学附属特別支援学校、3. 樹の子クラブ、4. 大正大学、5. 明星大学)

[J] 自主シンポジウム: 義務教育修了後 (高校・大学等) の支援

12:55 ~ 14:25 第8会場 (センター棟 3階 311)

[J2-08] 発達障害当事者活動がなぜ継続できているのか

参加当事者のアンケート結果を含めて

企画者, 司会者, 話題提供者: 榎木 啓二¹

話題提供者: 長岡 恵理²

指定討論者：高橋 知音³

(1. 早稲田大学保健センター学生相談室、2. 恵泉女学園大学、3. 信州大学教育学部)

[J] 自主シンポジウム：医療

14:50～16:20 第8会場（センター棟 3階 311）

[J3-08] 発達障害のある子供における教育と医療との連携 Conference 2025

ー現役小児神経科医師とフロアの先生方で共につくる効果的な連携のかたちー

企画者：宮崎 光明¹

司会者：加藤 永歳²

話題提供者：宮 一志^{1,3}、岡 牧郎⁴

指定討論者：宮崎 美江⁵

(1. 富山大学教育学部、2. 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会、3. 富山大学附属病院小児発達神経科、
4. 国立成育医療研究センターこころの診療科、5. 伸和学園堀川幼稚園)

[J] 自主シンポジウム：ユニバーサルデザイン

16:45～18:15 第8会場（センター棟 3階 311）

[J4-08] 子どもの感覚にやさしい教室環境にむけて

音・照明環境を中心とした多領域からの支援

企画者、司会者、話題提供者：高橋 秀俊¹

話題提供者：上野 佳奈子²、吉澤 望³

指定討論者：綿貫 愛子⁴

(1. 高知大学、2. 明治大学、3. 東京理科大学、4. 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)

2025年10月18日（土） 第9会場（センター棟 4階 401）

[J] 自主シンポジウム：インクルーシブ教育

11:00～12:30 第9会場（センター棟 4階 401）

[J1-09] インクルーシブ保育・教育に向かうパラダイムを考える2

企画者、司会者、話題提供者：服部 健治¹

話題提供者：小林 麻如²、佐々木 恵³

指定討論者：二宮 信一¹

(1. 天使大学、2. 釧路短期大学、3. よしみ小中学校 下関市立吉見小学校)

[J] 自主シンポジウム：2E・ギフテッド

12:55～14:25 第9会場（センター棟 4階 401）

[J2-09] 特定分野に特異な才能を持つ児童生徒への支援

特性をパワーに活かす2E教育の実践とは

企画者、話題提供者、指定討論者：三森 睦子²

話題提供者：松本 幸広¹、佐原 佑治³

指定討論者：片桐 正敏⁴

(1. SEISAアカデミー、2. 星槎大学、3. (株)Kaizen 教育事業部、4. 北海道教育大学)

[J] 自主シンポジウム：その他（学校卒業後の生涯学習）

14:50～16:20 第9会場（センター棟 4階 401）

[J3-09] 学校卒業後の障害者の生涯学習支援

企画者、話題提供者：志村 美和¹

話題提供者：星川 正樹²、引地 達也³

司会者：宮本 秀樹⁴

指定討論者：田中 良三⁵

(1. 愛知県立大学他非常勤講師、2. 文部科学省障害者学習支援推進室、3. フェリス女学院大学、4. 長野大学、5. 愛知県立大学)

[J] 自主シンポジウム：義務教育期（小・中学）の支援

16:45～18:15 第9会場（センター棟 4階 401）

[J4-09] 何が学びを止めるのか

表層化しにくい学習困難と教育保障の課題

企画者、司会者：佐藤 亮太郎¹

話題提供者：内田 佳那^{2,3}、藤間 友里亜⁴、菊地 麻衣子⁵、辻田 那月^{6,7}

指定討論者：飯村 大智⁸

(1. 東京未来大学こども心理学部、2. 兵庫教育大学大学院、3. 日本学術振興会、4. 同志社大学研究開発推進機構、5. カラフルバード、6. 大阪大学学際大学院機構、7. 場面緘黙親の会、8. 筑波大学人間系)

2025年10月18日（土） 第10会場（センター棟 4階 402）

[J] 自主シンポジウム：読む・書く

11:00～12:30 第10会場（センター棟 4階 402）

[J1-10] 「幼児期からの聴覚学習」(8)

幼児期・学齢期の「読み」の力につなげる指導方法と「読み書き」困難の理解啓発実践の在り方

企画者、話題提供者：大島 光代¹

指定討論者：藤本 裕人²

司会者：鶴田 敦司²

話題提供者：鎌田 ルリ子³、岩田 直人⁴、濱地 航平⁵、酒井 仁美⁶

(1. 名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部、2. 帝京平成大学、3. 筑波大学附属聴覚特別支援学校、4. 元愛知県立一宮聾学校、5. 愛知県立港特別支援学校、6. 学校法人 中西学園 菱野幼稚園)

[J] 自主シンポジウム：アセスメント

12:55～14:25 第10会場（センター棟 4階 402）

[J2-10] 読み障害のある児童生徒の読みに与えるメディアの影響をさぐる

企画者、司会者、話題提供者：氏間 和仁¹

話題提供者：奥村 智人²、川崎 聡大³

指定討論者：永井 伸幸⁴

(1. 広島大学、2. 大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所、3. 立命館大学、4. 宮城教育大学)

[J] 自主シンポジウム：インクルーシブ教育

14:50～16:20 第10会場（センター棟 4階 402）

[J3-10] 子どもの将来につながる学びと生活を支える 教育活動・個別支援・連携

企画者、司会者：和田 充紀¹

話題提供者：尾上 輝²、高島 菜々子³、杠 野々香⁴、桂 結子⁵

指定討論者：栗林 睦美¹

(1. 富山大学、2. 公立小学校、3. 県庁、4. 公立特別支援学校、5. 株式会社岡部)

[CP] 国際委員会企画ラウンドテーブル

16:45～18:15 第10会場（センター棟 4階 402）

[CP04] 国際委員会企画ラウンドテーブル

講師：Nadine Gaab

(Harvard Graduate School of Education, Harvard University)

2025年10月18日（土） 第11会場（センター棟 4階 416）

[J] 自主シンポジウム：アセスメント

11:00～12:30 第11会場（センター棟 4階 416）

[J1-11] 神経発達症（発達障害）児・者のテラード・サポートに向けた評価システムの検討

デジタル課題の活用可能性

企画者、司会者：岡崎 慎治¹

話題提供者：青木 真純²、別府 さおり³、奥畑 志帆⁴

指定討論者：大柳 俊夫⁵

(1. 筑波大学、2. 東海大学、3. 東京成徳大学、4. 佛教大学、5. 札幌医科大学)

[J] 自主シンポジウム：LD以外の発達障害（ASD・ADHD・DCDなど）

12:55～14:25 第11会場（センター棟 4階 416）

[J2-11] 小学校1年生児童の協調運動と行動・情緒的問題及び読み書きの関係について

—縦断調査と実践研究による検討—

企画者、司会者：石倉 健二¹

話題提供者：森 彩貴²、近田 義裕³、扇原 弘充^{4,1}

指定討論者：中尾 朋子^{5,6}

(1. 兵庫教育大学大学院特別支援教育専攻、2. 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科、3. 学校法人近田幼稚園、4. 神戸市立小学校、5. 大阪大学大学院、6. 豊中市教育委員会)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

14:50～16:20 第11会場（センター棟 4階 416）

[J3-11] オープンダイアログの多様性を考える

—学校で苦戦している中高生への実践から見えたこと—

企画者、話題提供者：宮崎 悦子¹

話題提供者：磯貝 和範¹

司会者：工藤 真希²

指定討論者：飯塚 吉行³、星野 俊弥⁴

（1. 学校法人星槎 星槎中学高等学校、2. 星槎学園北斗校、3. 東京都スクールカウンセラー、4. 北里大学病院）

[J] 自主シンポジウム：医療

16:45～18:15 第11会場（センター棟 4階 416）

[J4-11] 発達障害のある子供への薬物治療と教育的支援をつなぐ学校・家庭・医療機関の連携のかたち

企画者、司会者：川村 修弘¹

企画者、話題提供者：三浦 光哉²

指定討論者：原田 剛志³

話題提供者：星川 裕美⁴、山口 純枝⁵

（1. 山形大学大学院、2. 聖和学園短期大学、3. パークサイドこころの発達クリニック、4. 山形大学附属中学校、5. 名古屋市教育委員会子ども応援課）

2025年10月18日（土） 第12会場（センター棟 5階 501）

[J] 自主シンポジウム：義務教育修了後（高校・大学等）の支援

11:00～12:30 第12会場（センター棟 5階 501）

[J1-12] 教育現場における「発達障害の要支援度評価尺度（MSPA）」の活用

義務教育終了後の支援

企画者、話題提供者：清水 里美¹

企画者：田中 駿²

司会者：松岡 利規²

話題提供者：鈴木 英太⁴、天下谷 恭一³

指定討論者：花熊 暁⁵

（1. 大阪常磐会大学、2. 京都国際社会福祉センター、3. MSPA研究会、4. 京都教育大学、5. 関西国際大学）

[J] 自主シンポジウム：読む・書く

12:55～14:25 第12会場（センター棟 5階 501）

[J2-12] 自主シンポジウム題目「読み書き」に困難をかかえる子どもの家庭支援と園や学校での支援（2）

—当事者の親・そして支援者の立場でできることを考える—

企画者、司会者：片岡 茂¹

話題提供者：片岡 美津枝¹、野村 千香子²、大島 光代³

指定討論者：平谷 美智夫⁴

(1. 「読み書き」支援 まなびらぼ、2. 児童発達支援・放課後デイサービス うてな、3. 名古屋学芸大学、
4. 平谷こども発達クリニック)

[J] 自主シンポジウム：読む・書く

14:50～16:20 第12会場（センター棟 5階 501）

[J3-12] ひらがな支援研究プロジェクト

学童初期におけるひらがなの獲得がすべての子どもの学力保障へとつながる

企画者、話題提供者：島田 敏行¹

司会者：松浦 直己²

話題提供者：鵜飼 節夫²、石谷 禎孝²、高橋 泰岳⁴

指定討論者：原 恵子³

(1. 三重大学教育学部附属中学校、2. 三重大学教育学部、3. 上智大学、4. 福井大学工学部)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

16:45～18:15 第12会場（センター棟 5階 501）

[J4-12] スクールワイドPBSの実装の障壁を乗り越える (3)

ーデータの収集と活用ー

企画者、司会者：半田 健¹、若林 上総²

話題提供者：古田島 真樹³、門分 伸浩⁴

指定討論者：宮木 秀雄⁵、庭山 和貴⁶

(1. 熊本大学、2. 宮崎大学、3. 長岡市立青葉台小学校、4. 宮崎大学教育学部附属小学校、5. 山口大学、
6. 大阪教育大学)

2025年10月18日（土）第13会場（センター棟 4階 409）

[CP] LD-SKAIP委員会企画シンポジウム

14:35～16:35 第13会場（センター棟 4階 409）

[CP01] LD-SKAIPによる学習支援

実践事例から学ぶ効果的支援

司会者・企画者：奥村 智人¹

司会者：小笠原 哲史²

話題提供者：栗本 奈緒子³、飯利 知恵子⁴、東原 文子⁵

指定討論者：亀田 真理子⁶、梅田 真理⁷、小野 次朗⁸

(1. 大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所、2. 明星学苑、3. 大阪医科薬科大学LDセンター、4. なが
やまメンタルクリニック、5. 聖徳大学、6. 名張市立美旗小学校、7. 宮城学院女子大学、8. 大阪大学大
学院医学系研究科)

2025年10月18日(土) WS会場A(センター棟 3階 304)

[WS] 大会企画ワークショップ① 感覚過敏

11:45～12:30 / 14:30～15:15 / 15:45～16:30 WS会場A(センター棟 3階 304)

[WS1] 感覚過敏に関するワークショップ

講師: 井手 正和¹、渥美 剛史²、近藤 鮎子^{3,4}、松島 佳苗⁵

(1. 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、2. 杏林大学、3. 株式会社エルチェ、4. 江戸川区篠崎児童発達支援センター、5. 関西医科大学)

2025年10月18日(土) WS会場B(センター棟 4階 403)

[WS] 大会企画ワークショップ② TRPG

11:00～12:30 WS会場B(センター棟 4階 403)

[WS2] テーブルトーク・ロールプレイングゲーム (TRPG)

——対話で物語を紡ぐ「楽しいコミュニケーション」の世界

講師: 加藤 浩平

(金子総合研究所、東京学芸大学)

2025年10月18日(土) WS会場C(センター棟 4階 405)

[WS] 大会企画ワークショップ③ UDフォント

13:30～15:00 / 16:00～17:30 WS会場C(センター棟 4階 405)

[WS3] 子どもたちのつまずきを交えて「UDフォントの開発背景とBefore & Afterから学ぶミニテストの作り方」

講師: 高田 裕美

(株式会社モリサワ UD担当 ブランドエキスパート)

2025年10月18日(土) 展示会場(センター棟 4階 418)

[CPP] 常設展示・ポスター

11:00～16:30 展示会場(センター棟 4階 418)

[CPP01] アクセシビリティ委員会 活動報告

2025年10月18日(土) ポスター・展示会場(国際交流棟 国際会議室/レセプションホール)

[CPP] 常設展示・ポスター

11:00～16:30 ポスター・展示会場(国際交流棟 国際会議室/レセプションホール)

[CPP02] 全国LD親の会企画 全国親の会ポスター展示

企画者：栗野 健一、井上 育代、多久島 睦美
(NPO法人 全国LD親の会)

[CPP03] 2025 ディスレクシア啓発月間実行委員会 活動報告

[P] ポスター発表P01：義務教育期（小・中学）の支援1

11:15～11:45 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P01-01] 中学校の通常の学級における認知処理様式を活かした英語科の学習方略指導による自律型学習者の育成に関する検討

○横田 里子¹、熊谷 恵子²

(1. 藤沢市立羽鳥中学校、2. 筑波大学)

[P01-02] 自治体が行う療育事業におけるセンター的役割としての取り組み

見立てる、支援する、つなぐをパッケージとした「学び方療育」の概要

○安川 直史、吹上 美貴、平間 咲花

(世田谷区発達障害相談・療育センター)

[P01-03] 教科学習成績と知的能力との関係

5教科250点の知的発達症生徒事例による検討

○小田部 夏子^{1,2,3}、栗田 芙由美²、原田 浩司³、大西 淳児³

(1. さいとうクリニック発達外来、2. 大田原市立親園中学校、3. 筑波技術大学保健科学部)

[P01-04] 今日的な不登校支援にかかわる現状と課題

フリースクールの意義と位置づけを考える

○松久 眞実

(桃山学院大学)

[P01-05] 学習障害のある児童生徒の学校の通いにくさに関する実態調査①

児童生徒並びに保護者への質問紙による定量的な調査

○佐藤 亮太郎¹、内田 佳那^{2,3}、菊地 麻衣子⁴、丹治 敬之⁵

(1. 東京未来大学こども心理学部、2. 兵庫教育大学大学院、3. 日本学術振興会、4. カラフルバード、5. 筑波大学人間系)

[P01-06] 行き渋り・不登校のある場面緘黙児に対する学校側の支援の実態

一保護者を対象としたオンラインアンケートの結果より一

○辻田 那月^{1,2}、飯村 大智³、佐藤 亮太郎⁴、藤間 友里亜⁵

(1. 大阪大学 学際大学院機構、2. 大阪大学 COデザインセンター、3. 筑波大学人間系、4. 東京未来大学こども心理学部、5. 同志社大学研究開発推進機構)

[P01-07] 小学校における合理的配慮の阻害要因に関する教職員の認識についての検討

○赤池 睦子¹、飯田 順子²

(1. 東京都板橋区立中台小学校、2. 筑波大学 人間系)

[P01-08] 行動調整が困難な児童への支援と効果

集中して取り組み感情コントロールができるようになるまで

○鋒山 智子、林田 恵子、湊 愛
(花ノ木児童発達支援センター)

[P01-09] 発表取り下げ

[P01-10] 学習障害のある児童生徒の学校の通いにくさに関する実態調査②

児童生徒並びに保護者への質問紙による質的分析

○菊地 麻衣子¹、佐藤 亮太郎²、内田 佳那^{3,4}、丹治 敬之⁵

(1. カラフルバード、2. 東京未来大学、3. 兵庫教育大学大学院、4. 日本学術振興会、5. 筑波大学)

[P01-11] 学校ストレスを要因として不登校状態を呈する発達障害児・者へのオンライン動作法の適用可能性について

○山崎 真義
(滋賀県立八日市養護学校)

[P] ポスター発表P02：研修・専門性の維持向上1

12:00～12:30 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

[P02-01] 担当児童・生徒のWISC-IVを活用した研修が通級指導教室の教職員に与える影響の検討
—解釈練習を通じた学びの分析—

○前田 智行^{1,2}
(1. 星槎大学大学院、2. 一般社団法人こども発達支援研究会)

[P02-02] “読み書き困難”の理解啓発を進めるための研修のあり方に関する一考察
～通級指導教室からの発信～

○小倉 望¹、山下 公司²
(1. 札幌市立北九条小学校、2. 北海道教育大学札幌校)

[P02-03] 通級指導教室における専門性の維持・継承の実態とその課題
—通級担当者へのインタビュー調査を通じて—

○黒川 洋平¹、谷川 明香¹、石田 基起²、今枝 史雄³
(1. 大阪府立藤井寺支援学校、2. 滋賀大学、3. 大阪教育大学)

[P02-04] LD・ADHD通級指導教室担当者の意識調査から効果的な研修のあり方を考える
新任担当者のやりがいや不安に焦点化して

○増本 利信
(九州ルーテル学院大学)

- [P02-05] 「後方視的対話 (Retrospective/Reflective Dialogue)」を活用した教員研修の効果の検討
個別の指導計画作成に資する教員研修プログラム構築に向けて
○佐々木 全
(岩手大学)
- [P02-06] 地域の発達相談事業における「LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版」を活用した研修実践
公認心理師を目指す女子大学生・大学院生における自由記述を含めたアンケート結果の分析
○佐藤 昌子¹、木村 あやの²、山岸 久美子^{1,2}、若松 有里¹、小幡 智子¹、古屋 薫¹、山崎 真理子¹、
松永 しのぶ²
(1. 子育てステーション世田谷発達相談室、2. 昭和女子大学)
- [P02-07] 子供たちの「学びやすい環境づくり」を広げ、主体性を高める学校経営
教員のUD意識を広げながら子供たちの主体性を高める組織的な取組
○寺尾 祥訓
(静岡市立千代田小学校)
- [P02-08] 通級による指導の担当者の専門性を培う OJTによる研修
～専門性の向上に役立つ研修～
○片山 真喜代
(公立小学校)

[P] ポスター発表P03：LD以外の発達障害 (ASD・ADHD・DCDなど) 1

12:45～13:15 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

- [P03-01] ASDと軽度知的障害の併せ有する中学生に対する代替行動を用いたアプローチ
～交流及び共同学習の授業における生徒に対する介入による般化と維持の検討～
○新見 美希
(兵庫教育大学大学院)
- [P03-02] 注意欠如多動症児本人と保護者がとらえる原因帰属のずれ
障害特性に着目して
○五島 佑希菜¹、滝吉 美知香²
(1. 岩手大学教職大学院、2. 岩手大学)
- [P03-03] 自己理解に基づいた感情コントロール力を高める指導
中学年児童に対する心理教育的アプローチと学習環境の整備を通して
○村岡 千穂、中山 健
(福岡教育大学大学院)
- [P03-04] 知的障害、発達障害児の体育授業におけるチームスポーツへの参加状況の実態に関する検討
○青木 康彦
(福岡教育大学大学院)

[P03-05] 発達性協調運動症の評価における Oral Diadochokinesis の有用性

Oral Diadochokinesis 検査と DCDQ 日本語版の関連

○小畠 理恵子¹、小澤 由嗣¹、堀江 真由美¹、飯田 忠行¹、中井 昭夫²

(1. 県立広島大学 保健福祉学部、2. 武庫川女子大学 教育総合研究所)

[P03-06] 不登校状態を呈した ASD 児童に対する再登校支援

行動コンサルテーションを通して

○吉富 裕子¹、松岡 勝彦²

(1. 山口市立小郡小学校、2. 山口大学教育学部)

[P03-07] ADHD のある成人女性による後方視的研究

学校生活に必要なだった支援や配慮とは

○久松 千夏

(明治学院大学)

[P] ポスター発表 P03 : 医療

12:45 ~ 13:15 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室 / レセプションホール)

[P03-08] 発達性読み書き障害の原因候補遺伝子 (DYX1C1) のラット大脳皮質発達における時空間的発現パターン

○禅正 和真^{1,2}

(1. 倉敷成人病センター、2. 岡山大学大学院)

[P03-09] 発表取消

[P] ポスター発表 P04 : 読む・書く 1

13:30 ~ 14:00 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室 / レセプションホール)

[P04-01] ゲーム的要素を取り入れたインタラクティブ教材アプリの提案

ペンでタッチすると読める音声付教科書に代わるタブレット端末向け音声教材

○藤芳 明生、芦田 千頼、豊田 莉子

(茨城大学)

[P04-02] 定型発達児における反復描画課題遂行時の筆運動評価基準値の検討

○後藤 隆章¹、赤塚 めぐみ²

(1. 横浜国立大学、2. 常葉大学)

[P04-03] 通常学級における書字困難児への ICT を活用した書字支援とその自立的活用の変様

○山下 祥代、氏間 和仁

(広島大学)

[P04-04] 刺激ペアリング手続きによる記憶の再固定化の検討

小学校通常学級 1 年生漢字指導

○平野 佳子
(兵庫教育大学附属小学校)

[P04-05] 書字の困難さを示すASDのある幼児への数字運筆スキル獲得のための指導
モデリングの提示方法による効果の検証

○永富 大輔
(鹿児島国際大学福祉社会学部)

[P] ポスター発表P04：保護者・きょうだい等家族支援

13:30～14:00 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

[P04-06] ライフステージ別にみる他機関と連携した家族への支援の在り方
—知的障害のある子どもをもつ保護者へのインタビューを通して—

○鈴木 風太郎¹、小野里 美帆²
(1. 埼玉県立越谷西特別支援学校、2. 文教大学教育学部)

[P04-07] 発達障害児を育てる親の夫婦ペアレンティングに関する研究

○折笠 ゆい、熊上 崇
(和光大学 大学院)

[P] ポスター発表P04：就学前の支援

13:30～14:00 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

[P04-08] 「認定こども園版通級による指導モデルプログラム」の効果
—Vineland-Ⅱの適応水準が「低い」から「平均的」水準に達した事例—

○宮崎 光明、宮 一志
(富山大学)

[P04-09] 文字への興味を活用した音韻意識の発達支援について

—5歳児に対する個別支援の経過から—
○森下 未奈子、赤塚 めぐみ
(常葉大学)

[P] ポスター発表P05：義務教育修了後（高校・大学等）の支援1

14:15～14:45 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

[P05-01] 書字障害傾向を持つ大学生の学習支援について

高等教育における支援法の一例
○松山 綾子^{1,2}、照沼 あずさ^{3,2}
(1. 東京経営短期大学、2. 星槎大学、3. 川崎市立小田小学校)

[P05-02] 新版K式発達検査2020からみた境界知能域の大学生の発達的特徴
就学上の不適応を訴えた事例をもとに

○清水 里美¹、田中 駿²、松岡 利規²

(1. 大阪常磐会大学、2. 京都国際社会福祉センター)

[P05-03] 京都府内高等学校における合理的配慮に関する課題の検討

○鈴木 英太、門下 祐子

(京都教育大学)

[P05-04] 高校通級におけるTEM図を活用したペア学習による振り返りと対話に関する実践の検討
発達障害のある生徒へのキャリア発達支援の試み

○田中 美紀¹、菊地 一文²

(1. 青森県立北斗高等学校、2. 弘前大学)

[P05-05] 小人数ライティング授業における発達障害のある大学生への作文指導

～自分の考えを話して表現することが苦手という特性がある学生～

○相澤 亮雄¹、松本 美佳²、幸地 英理子²、坂井 伸子²、森 誠子²、高橋 知音³

(1. 神戸大学、2. 九州産業大学、3. 信州大学)

[P] ポスター発表P05：就労・就職・自立

14:15～14:45 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P05-06] 書字障害を伴うADHDの40代男性の症例報告

○戸田 重誠、大串 由加里、松原 弘泰、大橋 裕

(静岡県立こころの医療センター)

[P05-07] 境界知能者への就労支援

—BWAP2を用いた就労移行支援事業所における行動観察から、境界知能者の困り感を読み解く—

○砂川 双葉¹、梅永 雄二²

(1. 特定非営利活動法人クロスジョブ、2. 早稲田大学)

[P05-08] 特別支援学校高等部1年生に対するメンタルヘルス予防教育プログラムの実施可能性と不安・攻撃性への影響の検討

○木原 陽子^{1,2}、石川 信一³

(1. 同志社大学大学院心理学研究科、2. 日本学術振興会、3. 同志社大学心理学部)

[P05-09] 就業者の読み書き支援ニーズの様相

職種・業務内容および発達障害診断との関連

○佐々木 銀河¹、渡辺 陽¹、堀口 里奈¹、荻野 京輔¹、鄧 美娟²、大村 美保¹、和田 暁彦³、鈴木 慶太³、高橋 知音⁴

(1. 筑波大学、2. プライン・ツツジ株式会社、3. 株式会社Kaizen、4. 信州大学)

[P05-10] 発達障害者の就労におけるソフトスキルの課題と支援についての考察

○岩崎 あすみ、梅永 雄二

(早稲田大学教育学研究科)

[P] ポスター発表P06：ICT活用

15:00～15:30 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P06-01] 読みに課題のある児童のための動画教材化したテスト実施の試み

○上村 啓太

（高知市立一宮東小学校）

[P06-02] 特別支援学級・通級指導教室におけるICT活用の状況に関する一考察

○尾沼 志郎¹、赤羽 友子¹、土屋 貴子¹、戸谷 愛子¹、西原 睦子¹、三木 百合子¹、村石 令子¹、吉越 敦子¹、両川 晃子²

（1. 公立小中学校、2. 信州大学医学部附属病院）

[P06-03] ロボットによるゲーム型学習課題の提示が自閉症を伴う知的障害児の学習従事および社会的妥当性に与える影響

○若林 上総¹、河野 久美²、永山 宏平³、半田 健⁴

（1. 宮崎大学、2. 株式会社教育情報サービス、3. 埼玉県立本庄特別支援学校、4. 熊本大学大学院教育学研究科）

[P06-04] 日本語を母語とするディスレクシア児を対象とした英語学習支援システムの構築

ディスレクシア児における英語音読困難の可視化と音読練習の効果

○勝間田 里菜¹、成田 あゆみ²、齋藤 大輔¹、峯松 信明¹

（1. 東京大学大学院工学系研究科、2. もじこ塾）

[P06-05] 高等学校における音声教材導入プロセスの検討

日本と米国の比較分析を通して

○風早 史子、浅見 紫織、近藤 武夫

（東京大学先端科学技術研究センター）

[P06-06] 生成AIを用いた「やさしい日本語」表現と成人の読解困難感の関連性

読解支援における自動簡易化表現の実用可能性に関する探索的検討

○高橋 麻衣子¹、中村 孝一²、津田 憲吾²、村山 大樹^{2,3}

（1. 早稲田大学、2. NPO法人eboard、3. 帝京平成大学）

[P] ポスター発表P06：2E・ギフテッド

15:00～15:30 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P06-07] 日記活動による自己調整学習力の向上

～書字困難のある2E生徒の事例研究～

○佐藤 里美、池田 満

（北陸先端科学技術大学院大学）

[P06-08] 「ギフテッド・2E児に対する学校の支援体制の構築と指導の実践」

支援体制が整うまでの児童の変化と考察

○菅谷 厳寛

(栃木県大田原市立薄葉小学校)

- [P06-09] 学校教員によるギフテッド・2E児理解のためのサポートブックの評価と有効性調査
ギフテッド応援隊のサポートブックの活用に対する教員の印象

○佐伯 裕美¹、樋口 優子¹、日高 茂暢²

(1. 一般社団法人ギフテッド応援隊、2. 佐賀大学教育学部)

[P] ポスター発表P07：インクルーシブ教育

15:45～16:15 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

- [P07-01] スウェーデンの基礎学校における対応プログラム (åtgärdsprogram) の分析
子ども健康チームの役割の検討を中心に

○是永 かな子

(高知大学)

- [P07-02] 高等支援学校、高等学校間の連携と職業的な学びによる共学の教育効果
敷地外連携と敷地内連携の実践事例を通して

○中島 弘和

(元国立都城工業高等専門学校)

- [P07-03] 通常の学級に在籍する多様な子どもたちと、ともに伸びる授業の開発

○畑中 由美子¹、涌井 恵²

(1. 公立小学校、2. 白百合女子大学)

- [P07-04] 子ども一人ひとりの「好き」「楽しい」を認める学級経営

教室状況認識に関する国内外の研究動向に着目して

○山本 耕祐^{1,2}、若松 昭彦³、若松 美沙⁴

(1. 星槎大学大学院教育学研究科修士課程、2. 広島県安芸郡坂町立横浜小学校、3. 広島大学名誉教授、
4. 前広島大学大学院教育学研究科)

- [P07-05] 中学生はクラスメートに実施される合理的配慮をどのように捉えるか

○古村 真帆

(岐阜大学教育学部)

- [P07-06] 高等学校における認知特性に応じた学習方略の研究

オプションを活用した自己調整学習

○一谷 七菜¹、是永 かな子^{1,2}

(1. 高知大学大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻、2. 高知ギルバーク発達神経精神医学
センター)

[P] P07：感覚（過敏・鈍麻）・運動（不器用など）

15:45～16:15 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P07-07] 運筆が不安定なASD児への運動介入による支援の実践

ー感覚統合療法の視点を取り入れてー

○岡田 恵未¹、牛山 道雄²

(1. 奈良県 公立小学校、2. 京都教育大学)

[P07-08] アーレンシンドロームの視覚的特徴の検討

ーカラーレンズの分光透過率の解析よりー

○佐藤 七瀬¹、熊谷 恵子²

(1. 桜花学園大学教育保育学部、2. 筑波大学心理・発達教育相談室)

2025年10月18日（土）展示会場（カルチャー棟 大ホール ホワイエ）

[CPP] 常設展示・ポスター

11:00～16:30 展示会場（カルチャー棟 大ホール ホワイエ）

[CPP04] LD-SKAIP委員会 活動報告

[CPP05] 広報委員会 活動報告

[CPP06] 被災地支援委員会 活動報告

[CPP07] 一般財団法人特別支援教育士資格認定協会 支部会支援委員会 活動報告

[CPP08] 星槎大学 企画展示

[CPP09] 星槎国際高等学校 企画展示

2025年10月19日（日）第1会場（カルチャー棟 大ホール）

[CS] 大会企画シンポジウム4

9:50～11:50 第1会場（カルチャー棟 大ホール）

[CS04] 授業UDとUDL

司会者・企画者：菊池 哲平¹

話題提供者：川俣 智路²、川上 康則³、松久 真実⁴

指定討論者：桂 聖⁵

(1. 熊本大学、2. 北海道教育大学 未来の学び協創研究センター、3. 杉並区立済美養護学校、4. 桃山学院大学、5. 共愛学園前橋国際大学)

[CS] 大会企画シンポジウム5

12:20～14:20 第1会場（カルチャー棟 大ホール）

[CS05] 幼保小の連携による支援

「就学前の発達障害のある子どもに対する支援」

司会者・企画者：西永 堅¹

話題提供者：田中 里実²、堂山 亜希³、葛西 一馬^{4,5}

指定討論者：大伴 潔⁶

（1. 星槎大学大学院、2. 青山学院大学、3. 目白大学、4. 三重県特別支援学校玉城わかば学園、5. 星槎大学、6. 東京学芸大学）

[CC] 授賞式ならび閉会式

14:30～15:00 第1会場（カルチャー棟 大ホール）

[CC] 授賞式ならび閉会式

[CP] 学会企画シンポジウム

15:00～17:00 第1会場（カルチャー棟 大ホール）

[CP05] すぐその未来へ

—発達障害教育に関わる免許の実現に向けて—

司会者・企画者：涌井 恵¹

司会者：佐藤 克敏²

話題提供者：是永 かな子³、田中 裕一⁴、齋藤 卓弥⁵、大塚 晃^{6,7}

指定討論者：吉利 宗久⁸、海津 亜希子⁹

（1. 白百合女子大学、2. 京都教育大学、3. 高知大学、4. 神戸女子大学、5. 北海道大学病院 子どものこころと発達センター、6. JDDネット副理事長、7. 上智大学総合人間科学部社会福祉学科 名誉教授、8. 岡山大学、9. 明治学院大学）

2025年10月19日（日） 第2会場（カルチャー棟 小ホール）

[CS] 大会企画シンポジウム6

9:50～11:50 第2会場（カルチャー棟 小ホール）

[CS06] ニューロダイバーシティの視点から

—学びと雇用を考える—

企画者・司会者：鈴木 慶太¹

話題提供者：近藤 武夫²、柳橋 幸裕³

（1. 株式会社Kaizen、2. 東京大学先端科学技術研究センター、3. 経済産業省 教育産業室 企画官）

[CS] 大会企画シンポジウム7

12:30～14:30 第2会場 (カルチャー棟 小ホール)

[CS07] ギフテッド・2E支援のこれから

司会者・企画者: 片桐 正敏¹

話題提供者: 佐藤 駿一²、伊藤 駿³、三森 睦子⁴

指定討論者: 是永 かな子⁵

(1. 北海道教育大学旭川校、2. 東京大学医学部附属病院、3. 京都教育大学、4. 星槎大学、5. 高知大学)

[CS] 大会企画シンポジウム8

15:00～17:00 第2会場 (カルチャー棟 小ホール)

[CS08] 見えない生きづらさへの理解と対応

可視化と自己理解・セルフアドボカシー

司会者・企画者: 佐々木 銀河¹

話題提供者: 堀口 里奈²、綿貫 愛子³、ダックス⁴

指定討論者: 吉川 徹⁵

(1. 筑波大学人間系、2. 筑波大学大学院、3. 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科、4. 一般社団法人サクセサビリティ、5. 愛知県西三河福祉相談センター)

2025年10月19日(日) 第3会場 (センター棟 4階 417)

[CP] 研究委員会企画シンポジウム

9:50～11:50 第3会場 (センター棟 4階 417)

[CP06] LD等をとりまく合理的配慮のあるべき姿の探求

司会者・企画者: 松本 秀彦¹

話題提供者: 横田 晋務²、佐々木 銀河³、山本 ゆう⁴、齋藤 大地⁵

指定討論者: 川島 聡⁶

(1. 高知大学、2. 東北大学、3. 筑波大学人間系、4. 松本大学、5. 宇都宮大学、6. 放送大学)

[CP] 倫理委員会企画シンポジウム

12:30～14:00 第3会場 (センター棟 4階 417)

[CP07] 集団支援型教育研究の実施のための倫理ガイドライン (倫理委員会試案) の検討

企画者・話題提供者: 後藤 隆章¹

司会者: 関 あゆみ²

指定討論者: 榎本 容子³、堀川 淳子⁵、神山 努¹、大関 浩仁⁴

(1. 横浜国立大学、2. 北海道大学、3. 国立特別支援教育総合研究所、4. 品川区立日野第一小学校、5. 広島市教育委員会)

[CP] 全国LD親の会企画シンポジウム

14:30～16:00 第3会場（センター棟 4階 417）

[CP08] 「教育から就労自立への移行を見据えた、学齢期から始める支援」

企画者：栗野 健一¹

司会者：多久島 睦美¹

話題提供者：東條 裕志¹、中嶋 幸子²

指定討論者：伊藤 由美³

(1. NPO法人 全国LD親の会、2. 学び方の違う子の親の会ルピナス、3. 国立特別支援教育総合研究所)

2025年10月19日（日） 第4会場（センター棟 1階 101）

[J] 自主シンポジウム（実行委員会選抜）：研修・専門性の維持向上

9:50～11:20 第4会場（センター棟 1階 101）

[J5-04] 教育現場に求められる発達障害教育の専門性

～教育職・心理職の両面から人材育成を考える～

企画者、司会者：小林 玄¹

話題提供者：武富 敦史²、遠藤 葵³、三輪 慶太⁴、石井 真美香⁵

指定討論者：滝川 国芳⁶

(1. 東京学芸大学、2. 東京都小金井市立小金井第二小学校、3. 秋田県立栗田支援学校、4. 東京都八王子市こども家庭センター、5. 東京都東村山市立北山小学校、6. 京都女子大学)

[J] 自主シンポジウム（実行委員会選抜）：ICT活用

11:50～13:20 第4会場（センター棟 1階 101）

[J6-04] 学びにくさのある子へのテスト場面でのICT活用が開く未来①

正当な評価と合理的配慮の必然性を共有する

企画者、話題提供者：井上 賞子¹

話題提供者：鈴木 秀樹²、伊藤 陽子³

司会者：吉野 晃子⁴

指定討論者：高橋 麻衣子⁵

(1. 松江市立島根小学校、2. 東京学芸大学附属小金井小学校、3. 仙台市立八乙女中学校、4. 松江市立乃木小学校、5. 早稲田大学)

[J] 自主シンポジウム（実行委員会選抜）：ICT活用

13:50～15:20 第4会場（センター棟 1階 101）

[J7-04] 読み書きに困難のある子どもへのICTを活用した学習プログラムの開発と実践（第3報）

読み書き困難当事者である大学生・高校生の果たす役割と成果

企画者、司会者：坂井 聡¹

話題提供者：河野 俊寛²、濱地 音安³、吉田 征悟⁴

指定討論者：中野 泰志⁵

(1. 香川大学教育学部、2. 東京農工大学、3. 慶応大学、4. 日本工業大学、5. 慶応大学)

[J] 自主シンポジウム (実行委員会選抜): アセスメント

15:50 ~ 17:20 第4会場 (センター棟 1階 101)

[J8-04] 知能検査・心理アセスメントのフィードバックのトレーニング

企画者, 話題提供者: 熊上 崇¹

司会者: 星井 純子²

話題提供者: 永田 真吾³、熊上 藤子⁴、秋田 悠希⁵

指定討論者: 齋藤 大地⁶

(1. 和光大学、2. 東洋大学、3. 山梨大学、4. 埼玉東萌短期大学、5. 人間環境大学、6. 宇都宮大学)

2025年10月19日 (日) 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J] 自主シンポジウム: 英語

9:50 ~ 11:20 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J5-05] 英語の読み書き学習初期における習得の困難さへの理解を深めるー PART 2ー

アセスメントによる小中学生の英語基礎スキル習得状況と躓きの要因を探る

企画者, 話題提供者: 河合 裕美¹

話題提供者: 銘苅 実土²、縄手 雅彦³

指定討論者: 大谷 みどり³

(1. 神田外語大学、2. 帝京大学、3. 島根大学)

[J] 自主シンポジウム: 義務教育期 (小・中学) の支援

11:50 ~ 13:20 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J6-05] 通常の学級に在籍する教育的ニーズのある子どもの支援の充実に向けて

～小学校通級指導と心理士及び通常の学級担任との協働による社会性と情動の学習 (SEL) の実践をととして～

企画者, 指定討論者: 滑川 典宏¹

司会者, 話題提供者: 川上 賢祐²

話題提供者: 大森 良平³、島原 祥徳⁴

(1. 国立特別支援教育総合研究所、2. 横浜市立小学校、3. 医療法人社団智生会イサオクリニック、4. 横浜市立小学校)

[J] 自主シンポジウム: 研修・専門性の維持向上

13:50 ~ 15:20 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J7-05] 今改めて発達障害支援における専門性について問い直す

特別支援学校 通級指導教室の観点から

企画者, 司会者, 話題提供者: 山下 公司¹

指定討論者: 梅田 真理²

話題提供者: 坂内 仁³、沓澤 整治⁴

(1. 北海道教育大学札幌校、2. 宮城学院女子大学、3. 北海道教育委員会特別支援教育課、4. 国立特別支援教育総合研究所)

[J] 自主シンポジウム: 義務教育修了後(高校・大学等)の支援

15:50 ~ 17:20 第5会場 (センター棟 1階 102)

[J8-05] 発達・精神障害学生支援の明日に向かって

資源の少ない現場で可能な持続的支援とは

企画者, 司会者, 話題提供者: 篠田 直子¹

指定討論者: 篠田 晴男³

話題提供者: 森光 晃子¹、島田 直子²

(1. 信州大学、2. 秀明大学、3. 立正大学)

2025年10月19日(日) 第6会場 (センター棟 3階 309)

[J] 自主シンポジウム: 義務教育修了後(高校・大学等)の支援

9:50 ~ 11:20 第6会場 (センター棟 3階 309)

[J5-06] 大学と行政の連携・協働を通じたインクルーシブな生涯学習プログラムの開発・その4

当事者主体で開発・活動する意義について考える

企画者, 話題提供者: 武部 正明¹

司会者, 話題提供者: 日戸 由刈¹

話題提供者: 今藤 孝拓²、岩本 健吾²、後藤 成海³

指定討論者: 津田 英二⁴、別田 果菜子⁵

(1. 相模女子大学人間社会学部、2. インクルーシブ・プログラム開発協力者、3. 相模原市発達障害支援センター、4. 神戸大学国際人間科学部、5. 文部科学省障害者学習支援推進室)

[J] 自主シンポジウム: 就学前の支援

11:50 ~ 13:20 第6会場 (センター棟 3階 309)

[J6-06] CLM方式による接続期の支援

クラス全体の支援と合理的配慮

企画者, 司会者: 酒井 晃子¹

話題提供者: 大市 俊美²、志津馬 しのぶ³、高山 恵子⁴

指定討論者: 中村 みゆき¹

(1. NPO法人ライフ・ステージ・サポートみえ、2. 三重県尾鷲市福祉保健課子育て支援係、3. 岐阜県高山市立新宮小学校、4. NPO法人えじそんくらぶ)

[J] 自主シンポジウム: ICT活用

13:50 ~ 15:20 第6会場 (センター棟 3階 309)

[J7-06] 特別支援学級・通級指導教室におけるAIを活用した支援

AIの可能性の検討

企画者、司会者、話題提供者：山崎 智仁¹

話題提供者：房前 千里³、伊藤 陽子⁴

指定討論者：齋藤 大地⁵、内山 仁志²

(1. 山口県立大学社会福祉学部、2. 島根県立大学人間文化学部、3. 守口市立よつば小学校、4. 仙台市立八乙女中学校、5. 宇都宮 大学共同教育学部)

[J] 自主シンポジウム：読む・書く

15:50～17:20 第6会場 (センター棟 3階 309)

[J8-06] フォントや背景色などの文字の表示形式・媒体の違いが読むこと書くことにもたらす効果とは？

企画者、話題提供者：荻布 優子¹

司会者：加藤 哲則²

話題提供者：奥村 智人³、川崎 聡大^{4,3}

指定討論者：若宮 英司⁵

(1. 長崎大学教育学部、2. 愛媛大学教育学部、3. 大阪医科薬科大学高次脳機能研究所、4. 立命館大学産業社会学部、5. 藍野大学医療保健学部)

2025年10月19日(日) 第7会場 (センター棟 3階 310)

[J] 自主シンポジウム：就労・就職・自立

9:50～11:20 第7会場 (センター棟 3階 310)

[J5-07] 家庭における小学校段階からのキャリア発達支援について考える

—教育・福祉機関に期待される役割と連携・協働の展望—

企画者、司会者：榎本 容子¹

話題提供者：清野 絵²、井上 秀和¹、石渡 利奈²

指定討論者：知名 青子³、滝口 圭子⁴

(1. 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所、2. 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、3. 障害者職業総合センター、4. 金沢大学 人間社会研究域学校教育系)

[J] 自主シンポジウム：ユニバーサルデザイン

11:50～13:20 第7会場 (センター棟 3階 310)

[J6-07] 高校での合理的配慮と学びのユニバーサルデザイン

—高校卒業後の人生を視野に入れて考えるUDL実践の意義

企画者、話題提供者：松戸 結佳¹

話題提供者：森 真美²、溝畑 祥子³

指定討論者：名越 斉子⁴

(1. 東海大学、2. 元埼玉県立浦和工業高等学校、3. 埼玉県立浦和工業高等学校、4. 埼玉大学)

[J] 自主シンポジウム: ICT活用

13:50～15:20 第7会場 (センター棟 3階 310)

[J7-07] 読み書き困難を代替するICT活用の報告

ICT活用を含めた学習方略を学ぶ塾(SNラボ)での事例より

企画者, 話題提供者: 竹田 和輝⁴

話題提供者: 佐藤 里美¹、小園 侑理愛²

指定討論者: 加藤 悦子³

(1. 北陸先端科学技術大学院大学、2. 日本K-ABCアセスメント学会、3. 柏市教育委員会、4. 植草学園大学)

[J] 自主シンポジウム: 義務教育修了後(高校・大学等)の支援

15:50～17:20 第7会場 (センター棟 3階 310)

[J8-07] 高等教育における授業のユニバーサルデザイン化とUDLへの理論的展開

—多様な学生との対話を通じて—

企画者, 司会者, 話題提供者: 長山 慎太郎¹

企画者: 末吉 彩香⁵

話題提供者: 南 陽菜³、野口 夏佳⁴、岸良 隼人¹

指定討論者: 川俣 智路²

(1. 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局、2. 北海道教育大学大学院教育学研究科、3. 筑波大学人間学群障害科学類、4. 筑波大学医学群看護学類、5. 筑波大学人間系)

2025年10月19日(日) 第8会場 (センター棟 3階 311)

[J] 自主シンポジウム: ICT活用

9:50～11:20 第8会場 (センター棟 3階 311)

[J5-08] GIGAスクール時代における特別支援教育の現状と課題

—先生も児童・生徒もののびのびと学べる日常に向けたICT活用—

企画者, 司会者: 両川 晃子^{1, 7, 2}

話題提供者: 三好 照美³、尾沼 志郎^{4, 2}、赤羽 友子^{5, 2}、山本 郁⁶

指定討論者: 富永 大悟⁷

(1. 信州大学医学部附属病院、2. S. E. N. Sの会長野支部会、3. 星槎大学、4. 上田市立神川小学校、5. 南箕輪村立南箕輪中学校、6. 武蔵野大学、7. 山梨学院大学)

[J] 自主シンポジウム: 校内連携・地域連携の構築

11:50～13:20 第8会場 (センター棟 3階 311)

[J6-08] 発達障害教育の課題に「チーム学校」でどのように取り組むか

企画者: 長江 清和¹

司会者: 石本 直巳¹

話題提供者: 杉浦 里奈²、大島 竜之介³、伊藤 千鶴⁴

指定討論者：加藤 典子⁵

(1. 国立特別支援教育総合研究所、2. 熊谷市教育委員会、3. 函南町立桑村小学校、4. 長野県長野養護学校、5. 鳥取県教育委員会)

[J] 自主シンポジウム：義務教育修了後（高校・大学等）の支援

13:50～15:20 第8会場（センター棟 3階 311）

[J7-08] 高等学校に在籍する個別的教育ニーズのある生徒への支援における通級による指導の役割と展望

企画者、司会者、話題提供者：井上 秀和¹

話題提供者：市原 洋平²、奥村 俊介³

指定討論者：笹森 洋樹⁴

(1. 国立特別支援教育総合研究所、2. A県教育委員会、3. B県教育委員会、4. 常葉大学)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

15:50～17:20 第8会場（センター棟 3階 311）

[J8-08] 小学校や放課後等デイサービスで児童生徒の多様なニーズに対応する支援実践

企画者：林原 洋二郎¹

司会者：嵐 大基¹

指定討論者：梅永 雄二²

話題提供者：開田 亜矢子³、土田 晴香⁴、大和 由依⁵

(1. ヴィストカレッジ、2. 早稲田大学教育・総合科学学術院、3. 富山県魚津市立経田小学校、4. ヴィストカレッジ金沢駅前、5. ヴィストカレッジ西金沢駅前)

2025年10月19日（日） 第9会場（センター棟 4階 401）

[J] 自主シンポジウム：インクルーシブ教育

9:50～11:20 第9会場（センター棟 4階 401）

[J5-09] 通信制高校における多様な学びの実践

好き、楽しいを強みにつなげる実践報告

企画者、司会者：武隈 智美^{1,2}

話題提供者：飯田 魁¹、前田 啓介¹、原 彩子¹、山下 俊¹

指定討論者：阿部 利彦³

(1. 星槎国際高等学校、2. 特定非営利活動法人ゲートキーパー TONARINO、3. 星槎大学)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

11:50～13:20 第9会場（センター棟 4階 401）

[J6-09] 幼稚園における外部機関の導入、連携について

～互いの立場を理解し共に繋がっていくための連携の取り方に焦点をあてて～

企画者：長谷川 幸男¹

話題提供者：若月 芳浩²、下斗米 巧³

指定討論者: 守 巧⁴

(1. 南台幼稚園、2. 四季の森幼稚園、3. 株式会社 無有、4. こども教育宝仙大学)

[J] 自主シンポジウム: 義務教育修了後(高校・大学等)の支援

13:50 ~ 15:20 第9会場(センター棟 4階 401)

[J7-09] 発達特性が疑われる学生の実習支援について

看護および保育実習における学生支援

企画者、司会者: 松山 綾子^{1,2}

話題提供者: 江川 ゆき³、平田 京子⁴、工藤 美賀子⁵、田中 由華里⁶

指定討論者: 荻野 貴美子⁷

(1. 東京経営短期大学、2. 星槎大学、3. 東京医薬看護専門学校、4. 横須賀市立看護専門学校、5. 星槎大学大学院、6. 無所属、7. 松本看護大学)

[J] 自主シンポジウム: 読む・書く

15:50 ~ 17:20 第9会場(センター棟 4階 401)

[J8-09] 平谷こども発達クリニックにおける発達性ディスレクシア(DD)の診断と支援(その12)

デイジー教室を中心とするDD児童の日本語読解・語彙形成、英単語の読み支援とタイピング指導の工夫

企画者: 平谷 美智夫¹

話題提供者: 清水 宏樹¹、松浦 直己³、橋本 洋輔⁵、杉江 直哉^{4,1}、高橋 泰岳²

(1. 平谷こども発達クリニック、2. 福井大学 工学部、3. 三重大学 教育学部、4. 名古屋大学大学院 教育学部、5. 国際教養大学 国際教養学部)

2025年10月19日(日) 第10会場(センター棟 4階 402)

[J] 自主シンポジウム: インクルーシブ教育

9:50 ~ 11:20 第10会場(センター棟 4階 402)

[J5-10] 不登校特例校から「学びの多様化学校」へ

星槎中学高校・星槎名古屋中学・星槎国際高等学校のリベラルアーツとは

企画者、話題提供者: 安部 雅昭^{1,2}

話題提供者: 蓮田 亮大³、三村 紫十美⁴

指定討論者: 中西 茂⁵、吉川 徹⁶

(1. 星槎国際高等学校、2. 星槎大学、3. 星槎グループ、4. 星槎名古屋中学校、5. 教育ジャーナリスト、6. 愛知県西三河福祉相談センター)

[J] 自主シンポジウム: インクルーシブ教育

11:50 ~ 13:20 第10会場(センター棟 4階 402)

[J6-10] 子どもの興味を出発点にした関わりの成功体験

DIRフロアタイム®で育む発達と学び

企画者、話題提供者：大庭 亜紀^{1,2}

司会者：加地 はるみ^{2,1}

話題提供者：Guenzel Jeff³、佐藤 エマ⁴、Bowen Miho²

指定討論者：加藤 浩平^{5,6}

(1. ニューロダイバーシティ・スクール・イン東京 (NSIT)、2. NPO 法人ニューロダイバーシティ、
3. ICDL、4. Rebecca School NYC (レベッカ・スクール)、5. 金子総合研究所、6. 東京学芸大学)

[J] 自主シンポジウム：インクルーシブ教育

13:50～15:20 第10会場 (センター棟 4階 402)

[J7-10] 不登校特例校から学びの多様化学校へそして「もっともっと楽しい学校」への星槎名古屋中学校の13年の取り組みから見えてくる課題と期待

「強み」が原動力となる学びの創造：中高専連携ヤングチャレンジプロジェクトの挑戦

企画者、司会者：岩田 さおり¹

話題提供者：橋本 知代²、竹内 友彦¹、中嶋 果歩¹、森田 大河²

指定討論者：鈴木 美樹江³

(1. 星槎名古屋中学校、2. 星槎国際高等学校名古屋学習センター、3. 愛知教育大学)

[J] 自主シンポジウム：インクルーシブ教育

15:50～17:20 第10会場 (センター棟 4階 402)

[J8-10] 個々の才能を尊重する多様な学習プログラムの必要性

生徒の個性に合わせた体験を通じた学びの実践例

企画者、司会者：山下 峻³

話題提供者：小野 暖未¹、松山 さとみ¹、大平 奈美佳¹、比嘉 栄樹¹、下條 隆志¹、伊藤 叶太¹

指定討論者：川上 康則²

(1. 学校法人国際学園 星槎国際高等学校、2. 杉並区立清美養護学校、3. NPO 法人 星槎教育研究所)

2025年10月19日 (日) 第11会場 (センター棟 4階 416)

[J] 自主シンポジウム：その他 (合理的配慮)

9:50～11:20 第11会場 (センター棟 4階 416)

[J5-11] 一人ひとりに適した学びを実現するための合理的配慮

～それぞれの学びに合わせた教材の活用を通じて～

企画者、話題提供者：東恩納 拓也¹

司会者：高橋 淳一²

話題提供者：戸塚 香代子³、池田 千紗⁴

指定討論者：増本 利信⁵

(1. 東京家政大学、2. 株式会社オフィスサニー、3. 川崎市中央療育センター、4. 北海道教育大学札幌校、
5. 九州ルーテル学院大学)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

11:50～13:20 第11会場（センター棟 4階 416）

[J6-11] 自分に合った学び方ができる通級指導教室の取り組み

中学校での配慮を高校へとつなぐために

企画者：前田 智行¹

企画者、話題提供者：大嶋 容子²

指定討論者：井上 秀和⁵

話題提供者：平野 恵理³、馬場 久恵⁴

(1. 星槎大学大学院、2. 東三鷹学園三鷹市立第六中学校、3. 町田市立南成瀬中学校、4. 東京都立富士森高等学校、5. 国立特別支援教育総合研究所)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

13:50～15:20 第11会場（センター棟 4階 416）

[J7-11] 私学における特別支援教育⑧

—私学の実践事例から展望するインクルーシブ教育の視点を活かした不登校生徒支援—

企画者、話題提供者：一ノ瀬 秀司¹

指定討論者：高橋 あつ子²

話題提供者：佐藤 尚代³

司会者：藤井 伸樹⁴

(1. 学校法人大妻学院、2. 早稲田大学大学院、3. 神田女学園中学校高等学校、4. 玉川聖学院中学部・高等部)

[J] 自主シンポジウム：研修・専門性の維持向上

15:50～17:20 第11会場（センター棟 4階 416）

[J8-11] 新任通級担当者を対象としたOJTプログラムの開発

～発達障害通級指導教室に焦点を当てて～

企画者：吉橋 哲¹

話題提供者：金子 美也子²、籠宅 さや子³

指定討論者：梅田 真理⁴

(1. 新潟県長岡市教育委員会、2. 長岡市立与板小学校、3. 長岡市立千手小学校、4. 宮城学院女子大学)

2025年10月19日（日） 第12会場（センター棟 5階 501）

[J] 自主シンポジウム：義務教育修了後（高校・大学等）の支援

9:50～11:20 第12会場（センター棟 5階 501）

[J5-12] 生徒とともに取り組む高校通級

～主体は「なりたい自分」を目指す生徒～

企画者、司会者：鳥居 深雪¹

話題提供者：石井 裕樹²、山本 誠³、西野 恵子⁴

指定討論者：梅田 真理⁵

(1. 神戸大学、2. 兵庫県立阪神昆陽特別支援学校、3. 兵庫県立阪神昆陽高等学校、4. 兵庫県立西宮香風高等学校、5. 宮城学院女子大学)

[J] 自主シンポジウム：読む・書く

11:50～13:20 第12会場（センター棟 5階 501）

[J6-12] 読み困難児者の配慮受験を実現する自作DAISY化と実践的取り組み（第2報）

企画者：鈴木 昌和¹、原田 浩司²

司会者：福田 宜男³

話題提供者：菅谷 徹寛⁴、塩原 亜紀⁵、松下 朋広¹⁰、蟹江 しのぶ⁶、小田部 夏子⁷、星 恭古⁸

指定討論者：藤芳 明生⁹

(1. NPO サイエンス・アクセシビリティ・ネット、2. 筑波技術大学、3. 宇都宮LDセンター、4. 大田原市立薄葉小学校、5. 大田原市立若草中学校、6. 那須町立那須中央中学校、7. さいとうクリニック、8. 大田原市立親園中学校、9. 茨城大学、10. 真岡市立中村中学校)

[J] 自主シンポジウム：校内連携・地域連携の構築

13:50～15:20 第12会場（センター棟 5階 501）

[J7-12] 発達障害のある子どもたちのリラクセーションを促す教材や活動の検討

企画者、司会者：高橋 眞琴¹

話題提供者：尾関 美和^{2,5}、山崎 真義³、中西 裕子^{4,5}

指定討論者：牛込 彰彦⁶

(1. 鳴門教育大学、2. 尚絅大学、3. 滋賀県立八日市養護学校、4. 和歌山県立和歌山ろう学校、5. 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科、6. 帝京平成大学)

[J] 自主シンポジウム：計算・算数

15:50～17:20 第12会場（センター棟 5階 501）

[J8-12] 算数障害の子供への理解と指導力向上のための教員研修の効果

企画者、話題提供者：山本 ゆう¹

指定討論者：熊谷 恵子²

司会者：宮崎 光明³

話題提供者：佐々木 万里奈⁴、山口 佳子⁵

(1. 松本大学、2. 筑波大学心理・発達教育相談室、3. 富山大学、4. 学校法人茂来学園大日向中学校、5. 松本市立島内小学校)

2025年10月19日（日）WS会場A（センター棟 3階 304）

[WS] 大会企画ワークショップ① 感覚過敏

10:30～11:15／11:45～12:30／14:30～15:15／15:45～16:30 WS会場A（センター棟 3階 304）

[WS1] 感覚過敏に関するワークショップ

講師：井手 正和¹、渥美 剛史²、近藤 鮎子^{3,4}、松島 佳苗⁵

(1. 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、2. 杏林大学、3. 株式会社エルチェ、4. 江戸川区篠崎児童発達支援センター、5. 関西医科大学)

2025年10月19日(日) WS会場B(センター棟 4階 403)

[WS] 大会企画ワークショップ② TRPG

13:50～15:20 / 15:50～17:20 WS会場B(センター棟 4階 403)

[WS2] テーブルトーク・ロールプレイングゲーム(TRPG)
——対話で物語を紡ぐ「楽しいコミュニケーション」の世界
講師：加藤 浩平
(金子総合研究所、東京学芸大学)

2025年10月19日(日) WS会場C(センター棟 4階 405)

[WS] 大会企画ワークショップ④ Barbara Oakley

10:00～11:30 WS会場C(センター棟 4階 405)

[WS4] The Pathological Altruist's Guide to Education: How to Help Without Hurting
病的な利他主義を防ぐための教育ガイド: “善意”の落とし穴と傷つけない支援
講師：Barbara Oakley
(オークランド大学)

2025年10月19日(日) 展示会場(センター棟 4階 418)

[CPP] 常設展示・ポスター

10:00～15:00 展示会場(センター棟 4階 418)

[CPP01] アクセシビリティ委員会 活動報告

2025年10月19日(日) ポスター・展示会場(国際交流棟 国際会議室/レセプションホール)

[CPP] 常設展示・ポスター

10:00～15:00 ポスター・展示会場(国際交流棟 国際会議室/レセプションホール)

[CPP02] 全国LD親の会企画 全国親の会ポスター展示
企画者：栗野 健一、井上 育代、多久島 睦美
(NPO法人 全国LD親の会)

[CPP03] 2025 ディスレクシア啓発月間実行委員会 活動報告

[P] P08 : LD以外の発達障害 (ASD・ADHD・DCDなど) 2

10:00 ~ 10:30 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

- [P08-01] 軽度知的障害を伴う自閉スペクトラム症のある不登校状態の児童への多面的アプローチ
臨床動作法による情動調整支援と保護者へのコンサルテーション
○五位塚 和也
(大分大学)
- [P08-02] 有意語の表出が難しい知的障害を伴う自閉スペクトラム症への文字指導の取組
「得意 (お絵描き)」を生かした文字への興味・関心を高める工夫
○中井 健人
(広島県立呉特別支援学校江能分級)
- [P08-03] 特別支援教育におけるSELプログラム「SEL-8s」を活用した社会的スキル育成の実践研究
○望月 綾¹、都築 完児²
(1. 名古屋市立南特別支援学校、2. アクトシステム株式会社)
- [P08-04] 特別な教育的ニーズのある児童に対するなぞなぞ遊びの支援
○小島 拓也
(公立小学校)
- [P08-05] 視覚的ルール提示と言葉による賞賛がADHD・ASD傾向のある児童の授業参加行動に及ぼす効果
特別支援学級における実践
○杉本 弥生¹、吉永 歩²、正徳 夏生²、山田 充³
(1. 公立小学校、2. 公立小学校、3. 大阪市教育委員会)
- [P08-06] 感情の言語化と情動の制御の向上を目指した療育的アプローチ
ADHD児に対する構文の型を用いた自己表現の支援
○横川 佳子、綱川 貴
(TASUC株式会社)
- [P08-07] 最近接発達領域とASD児の学習可能領域
ASD児に合わせた新たな最近接発達領域の概念化
○樋口 和彦¹、渡邊 正人²、松浦 百香³
(1. 広島修道大学、2. 鳥取大学、3. 春日井市西山小学校)

[P] P09 : 研修・専門性の維持向上2

10:45 ~ 11:15 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

- [P09-01] 新任通級担任者のための自助研修システムの構築
新任者も経験者も、つながる、支える、共に学び合う
○青木 教美

(静岡市立番町小学校)

- [P09-02] 特別支援学校のコーディネーターと教職員による地域の小中学校等に向けた理解・啓発と研修活動の実践

『コンシェルジュレポート』の取り組みとまとめ

○園原 慎二

(埼玉県立草加かがやき特別支援学校)

- [P09-03] マンガにおける発達障害の描写を読者はどのように受け止めているのか
発達障害を取り上げた「当事者もの」「ストーリーもの」の投稿型書評サイトにおける書評の感情分析の比較を通して

○土居 隆

(大阪千代田短期大学)

- [P09-04] 小・中学校等の校内支援体制づくりワークショップのプログラムデザインの検討
ワークショップ「特別支援教育コーディネーターは、こうでないと！小・中学校等の校内支援体制づくり編」の実践から

○田中 雅子¹、山下 公司²

(1. 北海道教育大学釧路校、2. 北海道教育大学札幌校)

- [P09-05] 学校現場におけるアセスメント結果の活用について

○浅井 義邦¹、大嶋 容子^{1,2}、星井 純子³

(1. 公立中学校、2. 明星大学通信制大学院、3. 東洋大学非常勤講師)

- [P09-06] 小学校教員志望学生における特別支援教育をめぐるジレンマ経験
ーいつ、いかに経験し、その経験が有する構造はいかなるものなのかー

○今中 博章、吉井 涼

(福山市立大学教育学部)

- [P09-07] 通級担当初任者支援と通級担当者の力量向上のための取り組みについて
堺市初等教育研究会における通級指導教室領域の研修の実践

○塩田 さおり¹、杉本 弥生²、中谷 里織³、上田 裕美子⁴、中川 裕梨⁵、山田 充⁶

(1. 堺市立土師小学校、2. 堺市立日置荘西小学校、3. 堺市立英彰小学校、4. 堺市立久世小学校、5. 堺市立大泉小学校、6. 大阪市教育局)

[P] P09：聞く・話す

10:45～11:15 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

- [P09-08] 学童期の話しことばの評価
ナラティブを用いた「聞く・話す」領域の実態把握

○入山 満恵子¹、葭岡 晃世²

(1. 新潟大学、2. 連雀学園三鷹市立南浦小学校)

[P09-09] 通級指導における作成教材を用いたワーキングメモリ指導の効果

○徳澄 愛¹、細谷 里香²

(1. 公立小学校、2. 兵庫教育大学大学院)

[P] P10：校内連携・地域連携の構築

11:30～12:00 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P10-01] 教師間連携に関する自校通級と他校通級の比較①

ー A県における連携実態のアンケート調査からー

○関原 真紀、坂口 嘉菜

(上越教育大学)

[P10-02] 言語障害通級指導教室と発達障害通級指導教室の連携による支援に関する一考察

○岩淵 友美¹、山下 公司²

(1. 札幌市立南月寒小学校、2. 北海道教育大学札幌校)

[P10-03] 持続可能な発達支援・特別支援の連携

～へき地・小規模地域、離島地域からの考察～

○廣川 久美子¹、阿部 利彦²、山下 公司³

(1. 利尻町立利尻中学校、2. 星槎大学大学院、3. 北海道教育大学札幌校)

[P10-04] 教師間連携に関する自校通級と他校通級の比較②

ー A県におけるアンケート調査の自由記述の分析からー

○坂口 嘉菜、関原 真紀

(上越教育大学)

[P10-05] 校内教育支援センターを活用した不登校未然防止の取り組みと早期対応

○木南 真之介

(川越市立今成小学校)

[P10-06] 通常学級の担任と通級指導担当教員の役割に影響する要因

小・中学校の通級指導担当教員に対する質問紙調査から

○留目 宏美¹、岩本 佳世²

(1. 上越教育大学、2. 愛知教育大学)

[P10-07] A県B市における特別支援教育支援員が行う連携の工夫と研修ニーズについての調査報告

○野住 明美

(新潟大学)

[P] P10：英語

11:30～12:00 ポスター会場（国際交流棟 国際会議室・レセプションホール）

[P10-08] 中学生の日英読み能力の関係と能力パターンの分析

○渡邊 俊介
(東京大学大学院教育学研究科)

[P10-09] 中学生における英単語読みスキルに影響をおよぼす要因
音韻処理ならびに英語学習に対する動機づけによる検討

○細川 美由紀¹、戸井田 莉奈²
(1. 茨城大学、2. 茨城県立水戸高等特別支援学校)

[P10-10] 英語学習に特異的な弱さのある生徒に対する認知特性に応じた指導

○鈴木 恵太
(岩手大学)

[P] P11: アセスメント

12:15 ~ 12:45 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

[P11-01] 児童の社会情動的スキルは低下しているのか？

特別支援教育の有無や性別による違いに着目して
○西尾 祐美子¹、古見 文一²
(1. 畿央大学、2. 関西学院大学)

[P11-02] 学齢期の発達相談における新版K式発達検査2020の活用

WISC-Vとの比較を通して
○松岡 利規¹、田中 駿¹、相澤 雅文²
(1. 京都国際社会福祉センター、2. 京都教育大学)

[P11-03] 大学生における新版K式発達検査2020とWAIS-IVとの結果の比較

○田中 駿¹、松岡 利規¹、清水 里美²
(1. 京都国際社会福祉センター、2. 大阪常磐会大学)

[P11-04] 大学生における心理教育的アセスメントの効果検証

発達障害傾向と自尊感情・自己受容の関連
○中田 弘美¹、佐々木 銀河²
(1. 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局、2. 筑波大学人間系)

[P11-05] 教室への入室に課題のある小5児童へのチーム学校としての支援の一試み

KABC IIとMIチェックシートを活用した支援と小さな達成感の積み重ね
○藤谷 祐輔¹、梅田 真理²
(1. 丸森町立館矢間小学校、2. 宮城学院女子大学)

[P] P11: 義務教育修了後(高校・大学等)の支援2

12:15 ~ 12:45 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

[P11-06] 東京都立高等学校における学習面での特別な配慮が必要な生徒に対する支援実態

—教員を対象とした面接調査から—

○米田 智香¹、川間 健之介²

(1. ながやまメンタルクリニック、2. 山口学芸大学)

[P11-07] 外国人留学生への 支援は何が必要か

日本語学校に所属する留学生向けアンケート結果より

○小林 唯

(学校法人江副学園 新宿日本語学校)

[P11-08] ASDやADHDのある大学生へのセルフモニタリングの発達を促す支援の効果

○青木 真純

(東海大学)

[P11-09] 高校生のためのソーシャルスキルトレーニングによる成果

～1670人が参加、92.3%が「成果を感じた」集団授業の実践から～

○濱野 智恵

(株式会社Grow-S)

[P] P12：義務教育期（小・中学）の支援2

13:00～13:30 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P12-01] 読み書きに困難を抱える子どものための学校支援

小金井市の試み

○柳下 記子

(視覚認知発達支援センター)

[P12-02] 外国の子どもへの発達検査の可能性について

非言語による神経心理学的検査のテストバッテリー

○矢野 里恵¹、藤本 かおり²、中西 順子³

(1. 大阪市立十三小学校、2. 大阪市立北鶴橋小学校、3. 大阪市立南小学校)

[P12-03] 講演日時変更

[P12-04] 読み書き・算数に困難のある児童に対するRTIモデルの効果検証

—通級指導教室の役割を含めて—

○上田 鮎美¹、全 有耳²

(1. 奈良市立朱雀小学校、2. 奈良教育大学)

[P12-05] 公立小学校における学校規模ポジティブ行動支援（SWPBS）の効果

「フォト方式」による第1層支援と学級規模の第2層支援

○宮木 秀雄¹、有田 泰征²、藤田 守弘²

(1. 山口大学、2. 田布施町立田布施西小学校)

[P12-06] 衝動性制御の困難な児童への学習環境の構造化

○服部 小百合¹、松浦 直己²

(1. 松阪市立第二小学校、2. 三重大学)

[P12-07] 中学校通常学級の英語の授業場面での集団随伴性に基づく指導

生徒の援助報告と英単語テスト成績への効果

○三矢 美保¹、岩本 佳世²、奥村 太一³

(1. 愛知県公立中学校、2. 愛知教育大学、3. 滋賀大学)

[P12-08] 教師を対象としたハイブリッド形式による 応用行動分析研修の効果とその維持

○竹園 恵¹、嶋崎 まゆみ²

(1. 神戸市立井吹の丘小学校、2. 兵庫教育大学大学院)

[P12-09] 静岡県における発達障害等のある児童生徒の就学支援等に関する実態調査

特別支援学級及び通級指導教室の就学支援の地域差について

○市川 真里¹、大塚 玲²

(1. 静岡大学教職大学院、2. 静岡大学教育学部)

[P] P13: ユニバーサルデザイン

13:45 ~ 14:15 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室／レセプションホール)

[P13-01] MI理論に基づくユニバーサルデザイン授業の構築

小学校二年生の詩作を通じた多様な表現の可能性

○海老澤 佳輝

(日本女子大学附属豊明小学校)

[P13-02] 学習障害のある児童生徒を対象としたアクセシブルな質問紙調査の実施と課題の検討

○内田 佳那^{1,2}、佐藤 亮太郎³、菊地 麻衣子⁴、丹治 敬之⁵

(1. 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科、2. 日本学術振興会、3. 東京未来大学こども心理学部、
4. カラフルバード、5. 筑波大学人間系)

[P13-03] 特別支援教育の視点に立った通常学級における全員参加の学級経営

授業ユニバーサルデザインを活かした授業改善

○濱田 久司¹、是永 かな子^{1,2}

(1. 高知大学教職大学院、2. 高知ギルバーク発達神経精神医学センター)

[P13-04] 学びのユニバーサルデザインの考え方を取り入れた小学校理科の授業実践の考察

特別支援学級に在籍する児童の交流学級における学習に焦点をあてて

○八藤後 和男

(新潟大学大学院教育実践学研究科)

[P13-05] アクセシブルな教科書作成に求められるUD視点の抽出

印刷物UD視点との比較から

○森脇 愛子¹、加藤 琉衣²

(1. 青山学院大学、2. 青山学院大学教育人間科学部心理学科)

[P13-06] 特別支援学校(知的障害)高等部生徒になりたい自分になるために
—UDLの概念に基づく実践とその検証—

○大澤 優亮

(北海道星置養護学校ほしみ高等学園)

[P] P13：その他（自立活動）

13:45～14:15 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P13-07] 近年の発達障害のある児童・生徒を対象とした自立活動の実践研究の動向

○玉木 宏樹

(公立小学校)

[P] P13：その他（教室環境、学習環境、学校計画）

13:45～14:15 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P13-08] 不登校・発達障害のある生徒に対応する環境調整としての教室構成
—スウェーデンのリソーススクールにみる学習空間の構造—

○佐々木 伸子

(安田女子大学理工学部)

[P] P14：計算・算数

14:30～15:00 ポスター・展示会場（国際交流棟 国際会議室／レセプションホール）

[P14-01] 6症例の計算困難の特徴と推論困難の検討

○秋元 有子¹、紺野 道子²、豊村 かなみ¹、中石 康江¹

(1. 白百合女子大学発達臨床センター、2. 東京都市大学)

[P14-02] 算数障害児の早期支援のための集団指導プログラムの効果

1年生を対象とした加減算の系統的な指導プログラム

○山本 ゆう¹、熊谷 恵子²

(1. 松本大学、2. 筑波大学心理・発達教育相談室)

[P14-03] ICT機器を用いた算数障害特性のスクリーニング検査の開発

数感覚、数的事実、計算の正答数と反応時間の学年間の差異

○鈴木 歌音¹、藤岡 徹²、水野 賀史³

(1. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、2. 福井大学学術研究院教育・人文社会系部門、3. 福井大学)

[P14-04] 小学1年生に対する目標設定とタイムトライアルを用いた足し算・引き算の流暢性指導の効果

○金子 泰徳¹、野呂 文行²

(1. 筑波大学人間総合科学研究群、2. 筑波大学人間系)

- [P14-05] くり上がりある足し算・くり下がりのある引き算に困難がある児童への指導に関する研究
多層指導モデルMIM「さんすうのアセスメント・指導パッケージ」を活用して
○阿部 敬信¹、溝口 由紀²
(1. 九州産業大学、2. 福岡市立香椎下原小学校)

[P] P14: 読む・書く2

14:30 ~ 15:00 ポスター・展示会場 (国際交流棟 国際会議室/レセプションホール)

- [P14-06] 漢字書字指導における「想起」練習教材の作成と効果
通常の学級でも使える「漢字思い出し練習ワーク」の作成とその効果
○中尾 和人
(大和郡山市立郡山中学校)
- [P14-07] 就学前児における読み困難のスクリーニング検査の開発 (2)
3文字課題の有効性の検討
○宮本 直美¹、大内田 裕²、今枝 史雄²
(1. 関西福祉科学大学教育学部、2. 大阪教育大学教育学部)
- [P14-08] 読み困難の有無と読み方略が脳活動に与える影響
—近赤外分光法(NIRS)を用いた検討—
○氏間 和仁
(広島大学)
- [P14-09] 限局性学習症(発達性ディスレクシア)児の縦断的実践の報告
T式ひらがな音読支援の理論と実践に基づいた取り組みで読みの改善が見られた限局性学習症児
○藤原 こづえ
(福山市こども発達支援センター)
- [P14-10] 認知特性に応じた学習指導法の開発
非連続型テキストを活用した読解指導
○水梨 弥夕¹、鈴木 恵太²
(1. 岩手大学教育学研究科、2. 岩手大学教育学部)

2025年10月19日(日) 展示会場(カルチャー棟 大ホール ホワイエ)

[CPP] 常設展示・ポスター

10:00 ~ 15:00 展示会場 (カルチャー棟 大ホール ホワイエ)

- [CPP04] LD-SKAIP委員会 活動報告
- [CPP05] 広報委員会 活動報告
- [CPP06] 被災地支援委員会 活動報告

[CPP07] 一般財団法人特別支援教育士資格認定協会 支部会支援委員会 活動報告

[CPP08] 星槎大学 企画展示

[CPP09] 星槎国際高等学校 企画展示

2025年10月9日(木)～11月30日(日) オンデマンド配信

[EL] 教育講演

オンデマンド配信

- [EL01] 誰一人取り残さない教育とは
多層指導モデルMIMをもとに考える
講師：海津 亜希子
(明治学院大学)
- [EL02] 学び方を学ぶ
一子どものエイジェンシーとウェルビーイングを高めるためにー
講師：涌井 恵
(白百合女子大学)
- [EL03] 心理教育的アセスメントの現在地
講師：小林 玄
(東京学芸大学)
- [EL04] 発達性読み書き障害の背景とアセスメントに基づくサポート
講師：宇野 彰
(NPO法人LD・Dyslexiaセンター)
- [EL05] ディスレクシアの理解と支援
講師：石坂 郁代
(北里大学医療衛生学部)
- [EL06] 感覚過敏と感覚鈍麻
講師：井手 正和
(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- [EL07] ICT活用による支援 アプリ・ソフト・AI
合理的配慮におけるICTの可能性
講師：高松 崇
(NPO法人支援機器普及促進協会、京都市教育委員会 総合育成支援課)
- [EL08] スペシャル・インタレストー特別な興味に基づくコミュニケーション支援ー
講師：藤野 博

(東京学芸大学)

- [EL09] 青年期・成人期における発達障害者支援
修学からキャリア・就業支援まで
講師：佐々木 銀河
(筑波大学人間系)
- [EL10] 発達障害と併存症・二次障害への理解と対応
講師：吉川 徹
(愛知県西三河福祉相談センター)
- [EL11] 子どもたちとSNSやゲームの世界
講師：関 正樹
(大湫病院)
- [EL12] 発達障害のある子ども・若者の余暇活動支援
講師：加藤 浩平
(金子総合研究所、東京学芸大学)
- [EL13] 教科学習の土台となる遊びやことばの支援
～ DLD / SLIという概念やことばの困難と支援の課題～
講師：寺田 奈々
(ことばの相談室ことり)

[AL] 受賞者講演

オンデマンド配信

- [AL01] 臨床から生まれた支援のカタチ
書字障害研究とOoka Writingの開発
講師：大西 正二
(帝京科学大学、筑波大学心理・発達教育相談室)
- [AL02] 自閉症児の行動問題に対する教師による効果的な支援は？
講師：岡本 邦広
(公立大学法人 新見公立大学)
- [AL03] 「研究奨励賞」を受賞して
—どんな研究をしてきたのか—
講師：佐田東 彰
(金沢学院大学)
- [AL04] ペアレント・トレーニング研究の動向と課題
講師：神山 努
(横浜国立大学教育学部、横浜国立大学大学院教育学研究科)

- [AL05] 思春期・成人期における学校作業療法
教員のタスクシフトの担い手を目指して
講師：倉澤 茂樹
（福島県立医科大学）
- [AL06] 通常の学級におけるかけ算九九習得多層指導モデルに関する研究
講師：高畑 英樹
（社会福祉法人陽気会）
- [AL07] ライフステージを通じた支援のあり方を考える
講師：大塚 美奈子
（上田短期大学）
- [AL08] 発達支援をひらく
伴走型支援のこれから
講師：武田 瑞穂
（十文字学園女子大学）
- [AL09] 発達性ディスレクシア児の学習面での問題に対する保護者と教員の認識について
併存症が与える影響
講師：藤岡 徹
（福井大学）
- [AL10] 多層支援システムに基づく学習支援
応用行動分析学の視点から
講師：野田 航
（大阪教育大学総合教育系）

[JO] 自主シンポジウム（オンデマンド発表）：通級指導教室の具体的指導

オンデマンド配信

- [JO-01] 通級指導教室と通常の学級が一体となって指導・支援
通級指導教室の具体的な指導と通常の学級でできること
企画者、司会者、話題提供者：井阪 幸恵¹
話題提供者：園山 真理¹、出嶋 瞳¹
指定討論者：小田 浩伸²
（1. 和泉市立国府小学校、2. 大阪大谷大学）

[JO] 自主シンポジウム（オンデマンド発表）：義務教育修了後（高校・大学等）の支援

オンデマンド配信

- [JO-02] 憧れの職業に就くために取り組む 実習授業と技術習得
発達障害のある学生の進路選択を考える

企画者、話題提供者：中嶋 章浩¹

話題提供者：熊谷 貴文²、角田 智美³

司会者、話題提供者：田中 豊一⁴

指定討論者：阿部 利彦⁵

(1. 大阪府下 私立短期大学、2. 私立高校、3. 茨城キリスト教大学、4. ほっかいどう学院くしろせんもん学校、5. 星槎大学 大学院)

[JO] 自主シンポジウム（オンデマンド発表）：義務教育期（小・中学）の支援

オンデマンド配信

[JO-03] 教師を孤立させない 基礎的環境整備

チームとしての支援体制

企画者：植 えり¹、亀山 史子²

話題提供者：木下 敦美³、曾我部 法子⁴、長船 ゆかり⁵

指定討論者：小栗 正幸⁶

(1. 府立支援学校、2. 元支援学校、3. 元公立小学校、4. 公立小学校、5. 兵庫教育大学大学院 元公立中学校、6. 特別支援教育ネット)

[JO] 自主シンポジウム（オンデマンド発表）：感覚（過敏・鈍麻）・運動（不器用など）

オンデマンド配信

[JO-04] 視覚の過敏症者の感じ方と客観的なまぶしさの測定

いわゆるアーレンシンドロームについて

企画者、話題提供者：熊谷 恵子¹

司会者：佐藤 七瀬²

話題提供者：堀口 里奈³、矢野 雅文⁴

指定討論者：竹田 契一⁵

(1. 筑波大学心理・発達教育相談室、2. 桜花学園大学、3. 筑波大学大学院障害科学学位プログラム、4. イリスコミュニケーション、5. 大阪医科薬科大学LDセンター)

[JO] 自主シンポジウム（オンデマンド発表）：読む・書く

オンデマンド配信

[JO-05] 読みの困難さへの合理的な配慮：「音声化」した評価テスト

学校、教員、保護者、児童の事例から見る一年の効果と課題

企画者、司会者：藤堂 栄子¹

話題提供者：福田 貴子¹、樋渡 歩²、中嶋 幸子¹

指定討論者：入山 満恵子³、中野 泰志⁴

(1. NPO法人エッジ、2. 光文書院、3. 新潟大学、4. 慶應義塾大学)